

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		講義演習		
科 目 名		主要症状のアセスメントと看護			必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		16 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年次			学期及び曜時限		通年		教室名		各教室	
担 当 教 員		伊藤裕子		実務経験と その関連資格		がん化学療法看護認定看護師						
《授業科目における学習内容》 具体的な対象者の症状や治療・検査の基礎的知識とともに症状のメカニズムやアセスメントの視点、看護援助の根拠を理解する。 「アセスメントー診断ー援助方法」という看護実践を展開するときの基本的な思考過程を学ぶ												
《成績評価の方法と基準》 筆記試験・出席状況並びに課題提出状況・グループ発表内容等にて総合的に判断する												
《使用教材(教科書)及び参考図書》 基礎看護学[4] 臨床看護総論 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学												
《授業外における学習方法》 ・事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめる												
《履修に当たっての留意点》 ・個人ワークができるように事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめておくこと												
授業の方法			内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	呼吸に関連する症状を示す対象者への看護について説明することができる					テキスト 配布資料 AV機器	事前課題(事例疾患の 学習)に取り組む			
		各コマにおける 授業予定	呼吸に関連する症状を示す対象者への看護について事例展開を行う。									
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	循環に関連する症状を示す対象者への看護について説明することができる					テキスト 配布資料 AV機器	事前課題(事例疾患の 学習)に取り組む			
		各コマにおける 授業予定	循環に関連する症状を示す対象者への看護について事例展開を行う。									
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護について説明することができる					テキスト 配布資料 AV機器	事前課題(事例疾患の 学習)に取り組む			
		各コマにおける 授業予定	栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護について事例展開を行う。									
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	排泄に関連する症状を示す対象者への看護について説明することができる					テキスト 配布資料 AV機器	事前課題(事例疾患の 学習)に取り組む			
		各コマにおける 授業予定	排泄に関連する症状を示す対象者への看護について事例展開を行う。									
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	事例の看護過程についてグループで討議し、看護過程の展開について理解することができる。					テキスト 配布資料 AV機器	グループ発表に向けた 準備を行う			
		各コマにおける 授業予定	グループワーク									

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例の看護過程についてグループで討議し、看護過程の展開について理解することができる。	テキスト 配布資料 AV機器	グループ発表に向けた準備を行う
		各コマにおける授業予定	グループワーク		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例の発表を行い、他グループの発表を聞くことで看護過程の展開について理解することができる。	テキスト 配布資料 AV機器	グループ発表に向けた準備を行う
		各コマにおける授業予定	発表・意見交換		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例の発表を行い、他グループの発表を聞くことで看護過程の展開について理解することができる。	テキスト 配布資料 AV機器	グループ発表に向けた準備を行う
		各コマにおける授業予定	発表・意見交換		